

第3回リサーチ・アドミニストレーション講演会  
研究支援体制強化に向けた組織的取組みを  
通じて見えた事と今後の展望について

平成23年度より我が国の大学における学術研究の国際競争力の維持・向上を目的に、研究推進体制の高度化と研究者の研究時間確保を図るため、文部科学省の「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業が始まり、本学でも昨年度から8名のリサーチ・アドミニストレーター(URA)が着任し、業務を行っております。

また、同事業の一環として、URAのアウトリーチ活動を通じてリサーチ・アドミニストレーター(URA)類似職の方々、URAに関心のある方々を対象に、リサーチ・アドミニストレーション講演会を2回開催しております。

この度、科研費大幅増を組織的に実現した明治大学のキーパーソンである、小澤芳明先生のご経験を通じて見えた事と今後の展望についてご講演いただく機会を第3回リサーチ・アドミニストレーション講演会として企画しましたので、ご関心ある方は奮ってご参加ください。

記

講師：明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室  
事務長 小澤芳明氏

演題：研究支援体制強化に向けた組織的取組みを  
通じて見えた事と今後の展望について（仮）

日時：平成25年6月28日（金）16:00～17:30

場所：東京大学本郷キャンパス 経済学研究科学術交流棟・小島ホール2F コンファレンスルーム  
〒113-0033 文京区本郷7-3-1 ※赤門から入り右側伊藤国際学術研究センター並び

参加申込：氏名（ふりがな）、所属、役職を問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。  
（定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます）



小澤 芳明 先生 略歴

1989年明治大学大学院工学研究科博士前期課程修了。1995年米国サウスカロライナ大学人文社会科学部修士課程修了。富士電機株式会社で開発職、株式会社東陽テクニカで技術営業職。2001年学校法人明治大学入職、2007年生田研究知財グループリーダー、2008年研究知財事務室事務長、2011年9月より現職。大学行政管理学会研究推進・支援研究会リーダー。

著書に『研究計画書の点検と進化の実際（高等教育ハンドブック）』（小山内優・小澤芳明共著）があります。

東京大学リサーチ・アドミニストレーター推進室副室長 矢野正晴  
理学系研究科リサーチ・アドミニストレーター 林 輝幸  
問合せ先：03-5841-0469（内線 20469）林  
Mail:kenkyusuishin@adm.u-tokyo.ac.jp